

日本エム・イー学会平成14年度第1回理事会議事録

日時：平成14年5月9日（木） 11：00～13：00

会場：京都宝ヶ池プリンスホテル「比叡の間」（第41回日本エム・イー学会大会時開催）

<出席者>

会長：佐藤俊輔

副会長：上野照剛

理事：安藤譲二， 稲田 紘， 梶谷文彦， 菊地 眞， 楠岡英雄， 佐藤正明， 辻岡克彦， 土肥健純， 仁田新一
林紘三郎， 保坂栄弘， 星宮 望， 堀 正二， 南谷晴之， 山本克之

監事：戸川達男

理事・監事候補者：赤澤堅造， 石原 謙， 北畠 顕， 砂川賢二， 福井康裕， 山越憲一

大会長：高橋 隆（第41回）， 野瀬善明（第16回秋季）

特別委員長：岡田正彦（論文誌）

支部長：田中邦雄（北海道）， 米沢義道（甲信越）， 山内一信（東海）， 佐々木和男（北陸）

寺本 滋（中国・四国）

幹事：野村泰伸

事務局：高柳 建

<欠席者>

副会長：辻 隆之

理事：荻野和郎， 神谷 暲

監事：千田彰一

1. 理事会成立が確認された。
2. 平成13年度第5回理事会議事録（14-1-2）が承認された。
3. 会員：入退会希望者リストが回覧され，これらについて全件を承認した。この結果，正会員66名減で3,461名，準会員8名増で317名となった。維持会員の数は，変動なしで36社58口である。また以下の事項が回覧された。
4. 文部科学省研究推進局情報課「学術情報の流通基盤の充実について」
5. 日本学術会議調査資料「医用生体工学関連講座」（第10報関連）。
6. 総務：楠岡理事より前回理事会で次期会長一任となっていた平成14年度副会長選出結果に関して，安藤譲二，赤澤堅造両先生が選定されたことが報告された。また，平成14・15年度監事の候補として千田彰一先生が挙げられ，承認された。（14-1-4①，②）
7. 総務：楠岡理事より，日本エム・イー学会平成14年度会務分担案（14-1-5）が説明され，承認された。また，平成14年度通常総会資料（追加資料1）にもとづき，平成14年度の事業計画が説明された。
8. 総務：楠岡理事より，日本医学会から，日本医学会評議員（1名），連絡委員（1名），医学用語委員・用語代委員（各1名）の選出依頼があることが説明され，次期役員にその選出を一任することが決められた。尚，仁田理事より，医学会評議員は例年通り学会会長とすべきとの意見が出され，そのようにすることが確認された。（14-1-6）
9. ME技術教育：稲田理事より，ME技術教育委員会委員（承認済み）の確認とともに，追加案承認案（新規委員2名）が提出され承認された（14-1-7①）。また，平成14年度ME技術教育委員会の活動予定が報告された（14-1-7②）。これらは第24回ME技術講習会の開催予定に関する報告，第1種ME技術実力検定試験の要項改定（科目毎の合格のうちME基礎論について，この科目に1度合格したら3年間有効とすること）などの報告を含む。
10. CE：稲田理事（小野CE委員長の代理）より，CE委員会に関する審議項目として（1）臨床ME専門認定士の認定更新のための講習会の件，（2）臨床工学技士養成カリキュラムの大綱化に伴う厚生労働省への要望書の提出の件が提出された。（1）に関しては，試験実施日程との関係上すでに本年6月1日に実施することが決定しており事後承諾の形となるが，その開催を承認した。（2）に関しては，関係カリキュラムはもともとエム・イー学会が中心になって作成したものであるが，今回の大綱化における「学校協議会案」は，OJB（On the Job training）を重要視するあまり，臨床工学技士が医療機器の関係した事故発生の機序を理解する上で重要と考えられる「基礎工学」の削減が甚だしい。このような大綱化案の是正に向け，厚生労働省へ要望書を提出する必要があることが説明され（追加資料2：厚生労働省への要望書（骨子案）），承認された。

11. 財務：保坂理事より、平成13年度収支決算および監査報告がなされた（14-1-9）。特に、事業収入に試験関係費を加えた全体的な会計は黒字を計上しているが、一般会計は60万円程度の赤字である財務体質、また、本年度の貸借対照中の負債として、500万円強の未払いが生じていることが報告された。このため、当面の不足分については、試験関係費から取り崩して補填することが承認された。このような財務体質に対して有効な手立てを打てなかったことに関して、佐藤会長より自らの責任の指摘がなされ、かつ、問題の解決を図るための特別委員会を早急に設置し、学会の財務状況を立て直すための緊急処置を立案することが提案され、承認された。当該委員会は、新旧の会長、副会長、総務担当理事、財務担当理事、監事より構成し、緊急に措置を要する部分についての案を作成し、7月の次回理事会に報告するものとする。また、仁田理事より、中長期的な財務体制の改善案を作成する委員会の設置が必要との意見が出され、承認された。
12. 企画：南谷理事より、MBEサマースクール開催準備の進捗状況が報告された（14-1-10①）。エム・イー学会としてもその開催に期待している旨の意見が多く出された。企画関連の報告に引き続き、教育委員関連の報告として、同理事より、会生体医工学教育研究施設・カリキュラムの調査結果がまとまったことが報告された。本調査はもともと日本学術会議の医用生体工学専門委員会（上野委員長）主導で行われ、エム・イー学会としても必要な調査であることも併せて行われた。この調査結果を、エム・イー教育委員会等でも有効に利用していくこと、エム・イー学会ホームページに掲載することが確認された。
13. ME研究推進：梶谷理事より、ME研究推進委員会の活動報告として、科研費特定研究（フィジオーム）に関してはその結果待ちであることが説明された。
14. 第41回大会：高橋大会長より、大会の進行状況が説明され、参加者数も順調に伸びていることが報告された。
15. 第16回秋季大会：野瀬大会長より、今秋福岡で開催予定の秋季大会の準備が順調に進んでいることが報告された。
16. 第42回大会：北島大会長から来春札幌で開催予定の大会の準備状況が報告された。
17. その他：
18. 上野副会長（日本学術会議人間と工学研究連絡委員会医用生体工学専門委員会委員長）より、日本学術会議関連の事項として、科学研究費複合領域人間医学の審査委員推薦の委員の数（関連研連枠）に関して報告がなされた。（追加資料3）
19. 上野副会長（日本学術会議人間と工学研究連絡委員会医用生体工学専門委員会委員長）より、人間と工学研究連絡委員会とともに5月17日に合同シンポジウムを開催予定であることが報告された。
20. 上野副会長より、本年度も2003年1月20日にMEフォーラムを開催予定であることが報告された。
21. 堀理事より、BME誌16巻10号を学生向け特別号として出すこと、その内容、および、同特別号を後日一般書籍として販売する予定であることが報告された（追加資料4）。
22. 佐藤会長および保坂理事より、エム・イー学会財務状況について、改めて詳細が報告された。保坂理事からは、過去10年間の日本エム・イー学会の収支・財産状況・会員数の比較が示された（追加資料5）。その上で、佐藤会長から現状を改善するために改善策が提示された（追加資料6）。

（配布資料）

平成14年度第1回理事会議題

- | | |
|-------------|---------------------------------------|
| 14-1-2 | 平成13年度第5回理事会議事録（案） |
| 14-1-4-①, ② | 役員名簿 |
| 14-1-5 | 日本エム・イー学会平成14年度会務分担（案） |
| 14-1-6 | 日本医学会評議委員の選出について（依頼）他 |
| 14-1-7-① | ME技術教育委員会委員（案） |
| 14-1-7-② | 第24回ME技術講習会開催案内 |
| 14-1-8-① | 臨床ME専門認定士の認定更新のための講習会の件 |
| 14-1-8-② | 臨床工学技士養成カリキュラムの大綱化に伴う厚生労働大臣への要望書の提出の件 |
| 14-1-9 | 平成13年度収支計算書等および平成14年度収支予算案 |
| 14-1-10-① | サマースクール「生体へのアプローチ」 |
| 追加資料1 | 社団法人日本エム・イー学会平成14年度通常総会資料 |
| 追加資料2 | 厚生労働省への要望書（骨子案） |
| 追加資料3 | 科研費窓口研連 |
| 追加資料4 | BME誌16巻10号 学生向け特別号の企画について |
| 追加資料5 | 日本エム・イー学会過去10年間収支・財産状況・会員数の比較 |
| 追加資料6 | 財務状況 |